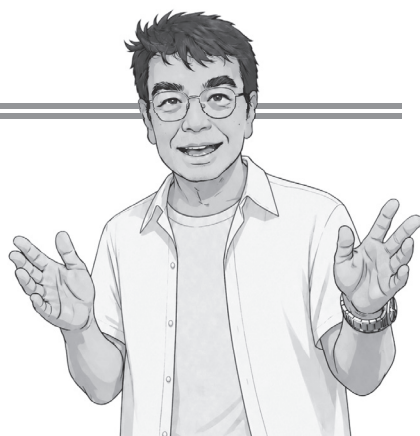


瀬下塾長の
わかる楽しさ できる嬉しさ ⑥



『KOSHIN 学院』塾長
せしもあつし
瀬下淳志

大学卒業後、大手学習塾に勤務
1994年10月KOSHIN 学院独立開業

自分の意志で走り出す

「誰かが背中を押してくれたら、頑張れるのに」「タイミングさえ合えば、動き出せるのに」そんな言葉を、塾生たちから時折耳にします。たしかに、親や先生、友人の言葉に勇気づけられて、一歩を踏み出せることもあるでしょう。しかし、それを「前提」にしてしまうと、人生の主導権を他人に渡してしまふことになります。

人生は、自分で走るものです。

私は、「背中を押してくれるのを待つな。自分で走れ」と伝えたい。

「自分で走る」とは、「自分がやりたい、自分がやるべきだ」と意思を持って動くこと、自分の目標に向かって、自分の足で進むことです。

この姿勢がある人は、困難に強い。

なぜなら、外からの応援がなくても、自分の内側に火を灯せるからです。誰かに頼らずとも、自分の心が「走れ」と言ってくれる。そんな人はどんな状況でも前に進め、社会に出てからも、しなやかに力強く生きていけるのです。

逆に、誰かからのスタートの合図を

待っている人は、環境に左右されやすく、走り出すチャンス逃しがちです。

「誰かが言ってくれたら」「もっと準備が整ったら」そんな言い訳が、行動を先延ばしにしてしまうのです。

「自分で走る」と言っても、いきなり全力疾走する必要はありません。大切なのは、**小さな一歩を踏み出すこと。**

例えば、今日の授業で、分からないと思ったことをすぐに質問する。少し早起きして読書をする。そんな小さな行動が、自分の人生を動かし始めます。

誰かの背中を押す人になる

そしてもう一つ。「自分で走れる人は、**「他人の背中を押せる人」にもなれます。**

自分の意思で動ける人は、迷っている人に、そっと手を差し伸べることができる。それは、言葉だけでなく、姿勢や態度から伝わるものです。

私は日々、塾長として、塾生たちの背中を押す役割も担っています。でも本当の願いは、彼ら自身が「自分で走れる人」になること。そして、いつか「誰かの背中を押せる人」になることです。

目からウロコのマメ知識

果汁が入っていても「ジュース」ではない

私たちが日常当たり前のように「ジュース」と呼んでいるものがたくさんあります。しかし実は——その多くは正式には「ジュース」ではありません。これは、食品表示基準という国のルールでしっかりと定められています。

☆ 「ジュース」と名乗れるのは果汁 100%だけ

驚くべき事実からお伝えします。「○○ジュース」と名乗って良いのは、果汁 100%の飲み物だけなのです。果汁が 99%でも「ジュース」とは呼べません。正式には「果汁入り飲料」や「果汁〇%飲料」と言います。

☆ パッケージのイラストにも厳しいルール

パッケージに描けるイラストにも細かい基準があります。

- ◇ 果汁 100% → 果実をスライスした断面のリアルなイラストを使用できる。
- ◇ 果汁 5%以上 100%未満 → 断面イラストは不可、果実の表面のリアルなイラストは OK。
- ◇ 果汁 5%未満 → 果実のリアルなイラストは NG。イラストは抽象的なものに限られる。



つまり、パッケージをひと目見ただけで「これはどのくらい果汁が入っている飲み物なのか」が分かるように工夫されているのです。

○ 「見れば分かる」は、実は深い学び

この区別を知るだけで、私たちの「見る目」は確実に変わります。「世の中には、知れば知るほど面白くなる仕組みがたくさんある」ということです。

そしてもう一つ。「正しい言葉を遣うことは、正しく理解することにつながる」ということです。

学びとは、こうした小さな気づきの積み重ねです。